

高齢者虐待予防プログラムモデル事業の実施報告について

1 モデル事業の概要

淑徳大学国際コミュニケーション学部 山口光治准教授を研究代表者として、高齢者虐待防止に向けた「予防プログラム」の研究開発が進められている。

平成 17 年度・平成 18 年度は、高齢者自身を主体的存在として、高齢者自身の内的な力(エンパワメント)を活用し、虐待を未然に防ぐ「高齢者本人向けプログラム」を開発している。

平成 19 年度・平成 20 年度は、高齢者自身の内的な力が活かされる社会環境とするために、高齢者を取り巻く住民や専門職を対象とした「住民向けプログラム」及び「専門職向けプログラム」の作成に向けた研究を進めている。

各プログラムは単体に存在するのではなく、一つのプログラムとして、同一地域で実施することで、地域における虐待予防を効果的に図ることを目的としている。

< プログラムのイメージ図 >

| 同一地区 | | |
|---|---|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">高齢者本人向け</div> <p>・高齢者向け虐待防止プログラム（作成済み） 150分×2日 （2週連続講座） 通常は3日講座</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">住民向け</div> <p>・住民向け虐待防止プログラム （作成中） 90分×1回</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">専門職向け</div> <p>・専門職向け虐待防止プログラム （作成中） 120分×2日 （2回目は1月後）</p> |
| <p>< 講師 > 淑徳大学 山口氏</p> | <p>< 講師 > 淑徳大学 山口氏</p> | <p>< 講師 > 淑徳大学 山口氏 淑徳大学 米村氏</p> |
| <p>< 内容 > 高齢者が地域の中で自分らしく生活するために高齢者を対象とした虐待予防プログラム 虐待とは何か。虐待に遭わないための方法や虐待に遭ったり、発見した場合の相談窓口や相談方法の周知</p> | <p>< 内容 > 高齢者が地域で生活するために、高齢期のこころと身体の変化について学び、実際に介護をしている方やこれから介護者になる住民を対象にした虐待予防プログラム 虐待とは何か等</p> | <p>< 内容 > 地域包括支援センター職員を中心に圏域の保健・医療・福祉職を対象に高齢者のエンパワメントの視点から虐待予防を目指したプログラム 高齢者から発信されるSOSを逃さない</p> |

2 モデル事業実施の背景

「高齢者本人向けプログラム」の作成にあたり、市高齢者福祉課職員が作成委員に加わり、平成18年度には、安茂里老人福祉センターにおいてモデル講座を実施している。

「住民向けプログラム」「専門職向けプログラム」の作成にあたっては、中部地域包括支援センター職員が作成委員として出席している。

モデル事業の実施地区について、次の理由から長野県長野市、千葉県市川市、石川県金沢市の3地区が選定された。(後に、新潟県聖籠町が追加)

長野県長野市

- ・行政や社会福祉協議会、在宅介護支援センターの協力が得られること。
- ・農村地域、新興住宅地域、人口の空洞化が進む旧市街化地域など多様な様態を示す地域が存在し、世帯構成や地縁関係が異なり、多角的な検討が可能なこと。

千葉県市川市

- ・行政として高齢者虐待防止策について検討が進んでおり、協力が得られること。
- ・都心近郊地域と高齢化している地縁関係の強い地域があることで多面的な地域サンプルが得られること。

石川県金沢市

- ・平成16年度から地域包括支援センター(前 在宅介護支援センター)を中心に高齢者虐待防止ネットワークのモデル事業を先駆的に取り組んでいること。
- ・小地域ネットワーク活動が活発な地域であること。
- ・高齢者虐待防止への先駆的な取り組みをしていること。

3 本市におけるモデル事業の目的

山口准教授が進める「住民向けプログラム」及び「専門職向けプログラム」の策定に向けた協力と本市における高齢者虐待防止に向けた今後の取り組みについて考察する。そのため、各プログラムに地域包括支援センター(委託も含む)社会福祉士が参加し、プログラムの内容を検証する。

4 モデル事業実施の経過

本モデル事業について、平成20年5月28日に山口准教授から中部地域包括支援センター管轄地域内での実施について依頼があったことから、第3・第4・第5・芹田地区の民生児童委員協議会長及び同協議会定例会にて本事業の説明とモデル地区の要請を行い、7月の中部ブロックケア会議(第3・第4・第5・芹田地区の民生委員協議会長及び医師会、歯科医師会、保健センター、高齢者福祉課、在宅介護支援センターが出席)にて、芹田地区での実施を決定した。

その後、芹田支所を中心に、民生児童委員協議会、住民自治協議会、福祉推進委員等に本事業への協力を依頼し、プログラムの周知を図った。住民向けプログラムの開催日は、住民自治協議会等の提案で、住民が参加しやすい土曜日の午後に決定した。その他に、保健補導員会や長野市薬剤師会等にも周知と協力依頼を呼びかけ、プログラムの実施に向けた準備を図った。

5 モデル事業実施報告

専門職向けプログラムについて

第1回目

日 時: 8月1日(金) 13時30分～15時30分

場 所: ふれあい福祉センター5階ホール

講 師: 淑徳大学 山口光治 准教授

米村美奈 准教授

参加者: 15人

中部包括: 4人 高齢者福祉課: 1人 保健センター: 1人 在介: 1人

居宅介護: 3人 訪問介護: 3人 通所介護: 2人

内 容: 研修目的の説明(山口准教授)

高齢者へのエンパワメントの意味(山口准教授)

相談援助場面から考える(両講師によるロールプレイ)

ロールプレイの観察から感じたことを各自が用紙に記入、発表

3～4人のグループに分かれて、ロールプレイを実施

研修の振り返り(山口准教授)

第2回目

日 時: 9月3日(水) 13時30分～15時30分

場 所: 市役所第2庁舎10階18会議室

講 師: 淑徳大学 山口光治 准教授

米村美奈 准教授

参加者: 14人

中部包括: 5人 高齢者福祉課: 1人

保健センター: 1人 在介: 1人 居宅介護: 2人 訪問介護: 2人 通所介護: 2人

内 容: 前回研修内容の整理(山口准教授)

本研修目的は虐待対応に向けた研修でなく、虐待予防に向けた研修であることを再説明

相談援助場面から考える(参加者によるロールプレイ)

講師と参加者による電話相談を想定したロールプレイ

3～4人のグループに分かれて、ロールプレイを実施

研修の振り返り(山口准教授)

住民向けプログラムについて

日 時: 8月30日(土) 13時30分～15時00分(13時00分開場)

場 所: 長野赤十字病院C棟3階研修室

長野赤十字病院の協力を得て研修室にて実施

講 師: 淑徳大学 山口光治 准教授

参加者: 30人(住民)

内 容:講座の目的について

高齢期における”からだ”と”こころ”の変化について

高齢期における病気(脳梗塞や認知症など)

老いても自分らしく、より良く暮らすということ

友人からの相談について(事例検討) 時間の都合等で実施せず

高齢者虐待についてご存知ですか。

あなたとあなたの大切な人が自分らしく暮らすために

困ったときの相談窓口について

高齢者向けプログラムについて

第1日目

日 時:9月2日(火) 13時30分~16時00分

場 所:芹田支所 第4会議室

講 師:淑徳大学 山口光治 准教授

参加者:22人(住民)

内 容:講師紹介

講座全体の目的説明

講座「高齢者への虐待を知ろう！」

・私の暮らし方のチェック

チェックリストで振り返り

・ご近所場面をチェック

チェックリストに各自が記入し、

グループワークによる話し合い。

その後、発表により話し合いの内容を深める。

・高齢期の安心や安全が脅かされる状態とはどのようなことなのか。

虐待の種別等を説明

・まとめと振り返り

第2回目

日 時:9月9日(火) 13時30分~16時00分

場 所:芹田支所 第4会議室

講 師:淑徳大学 山口光治 准教授

参加者:21人(住民)

内 容:講座「私は大丈夫?暮らしを見直そう！」

・もしも…の場合、あなたは どうしますか？

もしもシートに各自が記入し、グループワークにより、他のアイデア

や他の方法について検討する。その後、発表し、話し合いの内容

を深める。

・まとめと社会資源の紹介

日常生活自立支援事業について
成年後見制度について
介護保険制度について
地域包括支援センターについて

6 モデル事業実施における課題等について

本プログラムは、「高齢者虐待」や「高齢者の人権」についての意識を高めるなど事前に基盤づくりを図った上で実施することで、より効果的なプログラムが展開される。

高齢者本人向けプログラムに関しては、民生委員や福祉推進員等でなく高齢者虐待について日ごろから意識していない方を対象に進めていくことが望まれ、住民向けに関しても、介護を担う世代の方に受講してもらえよう募集方法の検討やPTA等の行事で展開するなど開講方法の検討が必要である。

なお、本市は中山間地域、市街地など地域と参加者に合わせた柔軟なプログラムを実施することが望まれ、山口准教授の作成するプログラムを参考に本市の地域性や住民の意識に適合する長野市版プログラムの作成と実施が望まれる。

7 虐待予防に向けた本市の取り組みについて

本年度末に山口准教授が策定するプログラムを基本に、平成 21 年度に本市の地域性や住民の意識に適合する長野市版プログラムの素案づくりと芹田地区以外の地域で実施、検証を行う。

検証結果から本市における虐待予防プログラムの策定を図り、効果的にプログラムを実施するための方法等について長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会の協力を得て検討し、各地域包括支援センターを中心とした展開を目指す。